

本の虫

2024年度
大谷南小学校
図書館だより
10月号



図書室の本を紹介しよう！

10月号の担当は齋藤です。

『さよならプラスチック・ストロー』

五千年以上も前のこと、シュメール人たちは、ビールを飲むために葦あしを使うことを思いついた。1960年代になると、プラスチックのストローは世界中にあふれていた。プラスチックは、海をよごして、海でくらす生き物たちをおびやかしている。この問題は、どうしたら解決できるんだろう。

『ごはんとおぎごはん どうちがう？』

ごはんやパン、めんのざいりよは、イネや麦などの「穀物」日本では、夏の初めに麦がとれて、秋にイネ（米）やそばがとれる。米はほとんどが日本でとれたものだけど、そばは、外国でとれたものをたくさん輸入しているよ。

『おまつりとごちそうで世界いっしゅう』

世界の子どもたちがおいわいしているよ！オーストラリアは、海辺のバーベキューを楽しむ夏のクリスマス、タイでは、ソングラーンの水かけまつりでおいわいするよ！きみは、どんなおまつりでおいわする？

『海よ光れ』

東日本大震災の直後、避難所となった大沢小学校。地域の被災者といっしょに、学校で寝泊まりをしていた子どもたちはどんな気持ちでいたのでしょうか。そして、今の自分たちに何ができるのかを考えて取り組んだことは……。

『いのちのボタンをつなぎたい』

世界では、1年間に520万人の子どもたちが、5歳の誕生日を迎えることなく命を落としていきます。死亡原因の約半分は「栄養不良」に関連しています。消えていく子どもたちの命は、安全な水、栄養のある食事でつなぎ止めることができます。

『ごめんねでてこい』

だいすきなのに、「きらい」って言っちゃった。あやまりたいのに、出てこない。わたしの中のごめんねでてこい！

小山市平和基金寄贈図書

*原作者は、海老名香葉子さんです。

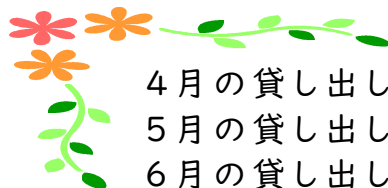
『うしろの正面だあれ』

わたし、中根かよ子は、東京下町のつりざお作りの家に生まれました。働き者の父ちゃん、やさしい母ちゃん、そして、3人の兄ちゃんとおばあちゃん。わたしのまわりには、いつも大切な家族がいて、笑い声があふれていました。ところが、ある日、大きな戦争が始まって……。

わたしが、保護者の方へおすすめ！

『そして、ボタンはわたされた』瀬尾まいこです。家族愛（親子愛）が本当にステキです。映画にもなりましたが、それもいいかもしれませんが、本で読むことをおすすめします。押しつけない自然に思いやる気持ちがとてもいいのです。最後に一緒に過ごしたお父さんと主人公のやりとりが絶妙で楽しく、温かいです。

読書に力をいれています。



4月の貸し出し数	431冊
5月の貸し出し数	657冊
6月の貸し出し数	782冊
7月の貸し出し数	365冊
9月の貸し出し数	629冊
(一人平均32冊)	